

まず、ダム案以外の実現の  
可能性を検討します

# 岩倉峡上流部の 貯留施設比較検討

以下検討する洪水としては、

- 昭和28年13号台風洪水(5313型)
  - 昭和40年24号台風洪水(6524型)
- とします

# 1. 昭和28年13号台風洪水 (5313型)を対象とした検討

# 河道で処理する案

## □河道内貯留案

上野地区上流の河川を引き堤、掘削(約10km)し、さらに約20基の貯留用の可動堰を建設する案です



# 河道内貯留案

## デメリット

- ・河川を約20基の堰により分断、また、河道内の改変により生物や土砂の移動を妨げます
- ・大規模な用地補償が必要となり、事業の長期化が予想されます

詳細検討の対象外とします

# 河道以外で対応する案

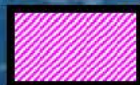
## □上野遊水地掘削拡大案

上野遊水地内の地盤を地下水位に配慮して約1m掘削して容量を確保し、さらに隣接する水田に遊水地を新設する案です

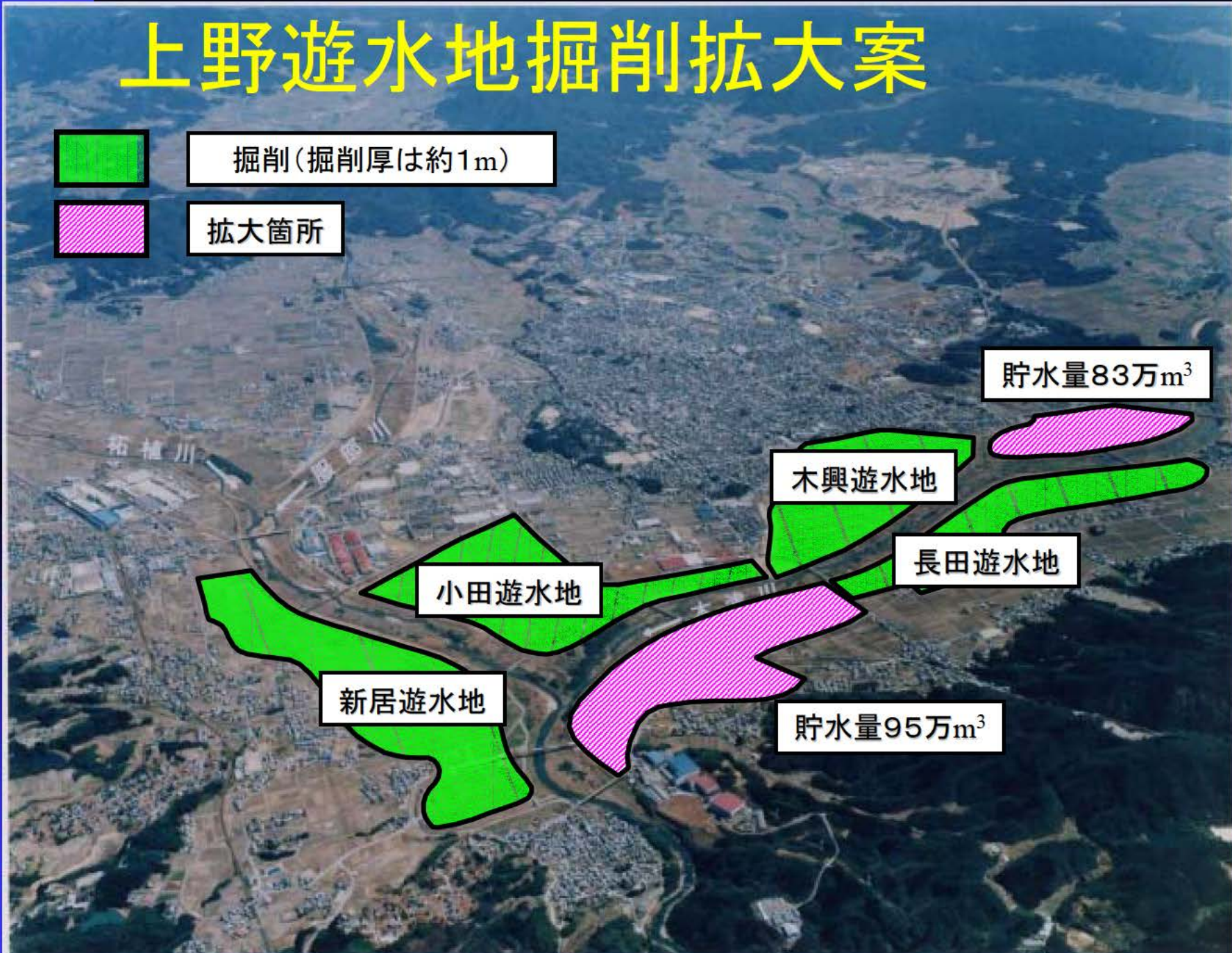
# 上野遊水地掘削拡大案



掘削(掘削厚は約1m)



拡大箇所



# 上野遊水地掘削拡大案

## メリット

- ・田園風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

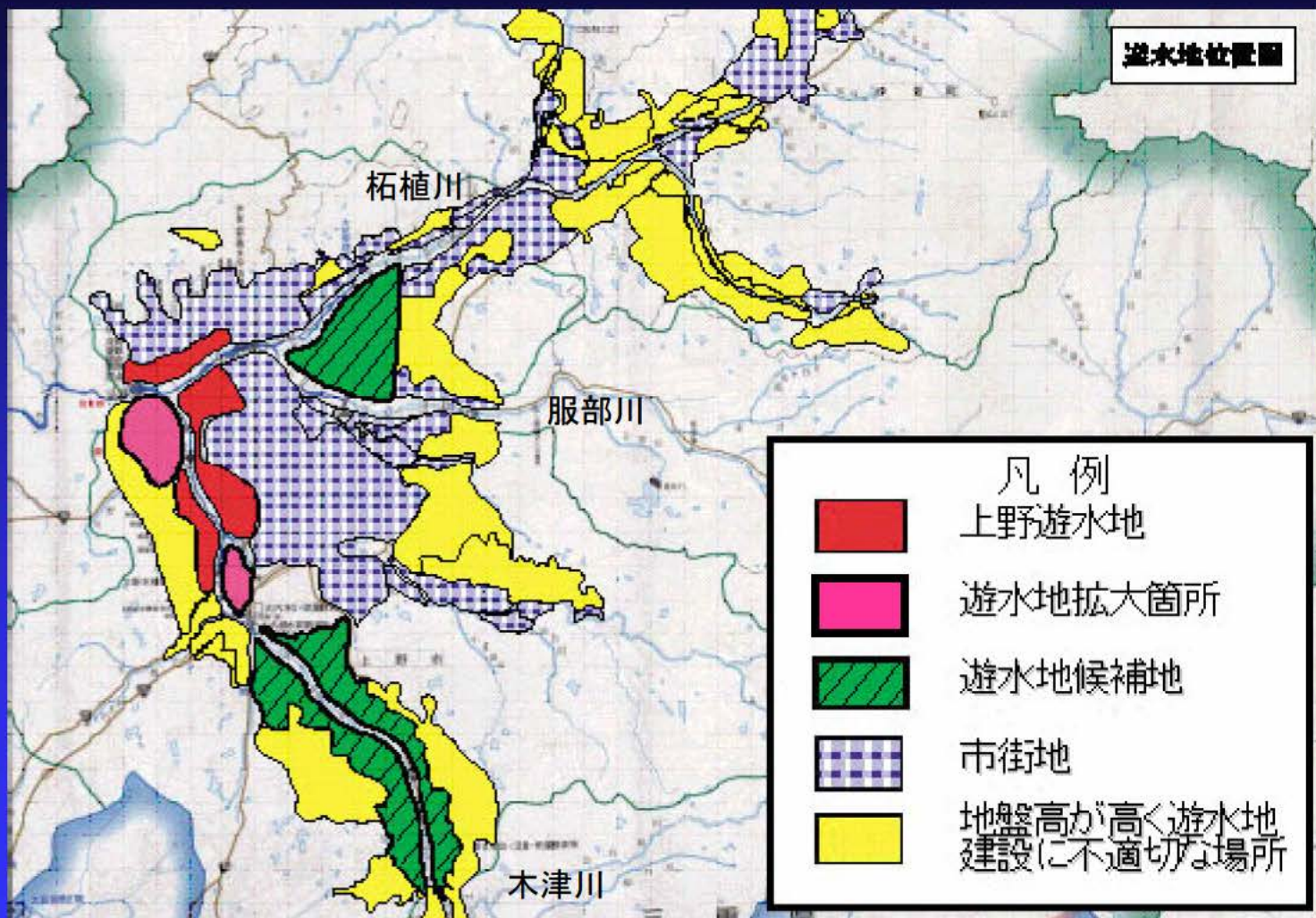
## デメリット

- ・既往最大浸水面積の約2/3が遊水地面積として必要になります
- ・遊水地の掘削拡大に伴い大規模な用地補償が必要となり、事業の長期化が予想されます
- ・上野地区は平地が狭小で、遊水地拡大に伴い土地利用が限定され、地域発展に影響します

詳細検討の対象とします



# □遊水地新設案

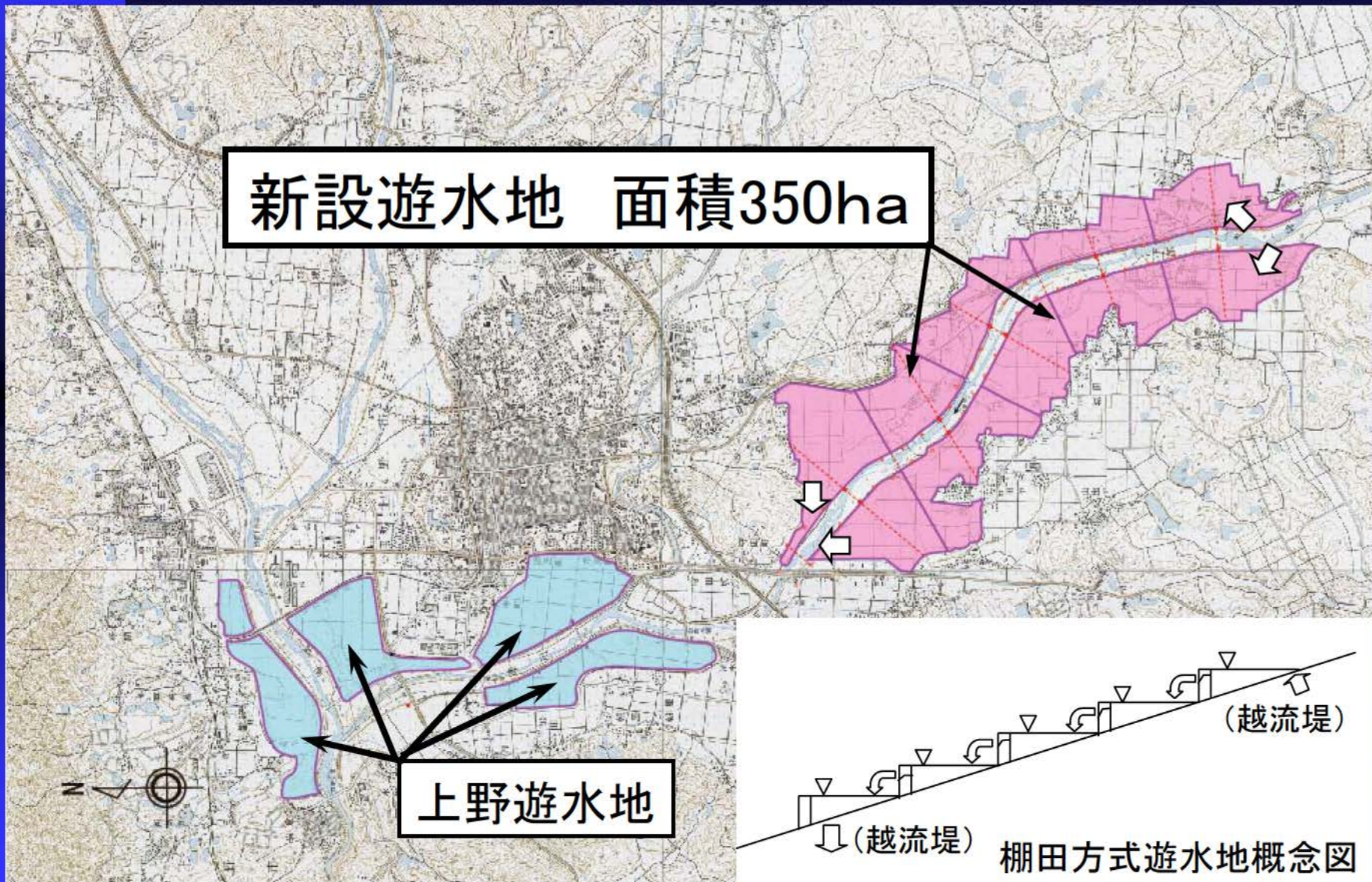


岩倉峡上流上野地区での新設遊水地の候補地は依那古地区と柘植川・服部川合流点の2箇所あります

# □依那古遊水地案

上野遊水地上流部の木津川沿いに棚田方式の新たな遊水地(350ha)を新設する案です

# 依那古遊水地案



# 依那古遊水地案

## メリット

- ・田園風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

## デメリット

- ・大規模な用地補償が必要となり、事業の長期化が予想されます
- ・上野地区は平地が狭小で、遊水地新設に伴い土地利用が限定され、地域発展に影響します

詳細検討の対象とします